



ジョイフル

VOL.22

2020.11.25 発行



なみ ざき けい すけ
浪崎 圭介

知立営業所 係長

前職はソフトウェア会社のSEだったという浪崎圭介さん。2014年に南星キャリアックス株式会社に入社しました。現在は知立営業所の係長を務め、乗務員の配車やお客様との打ち合わせを担当しています。転職して感じたことや今後の展望を伺いました。

前職とはまったく違う業界に転職されたんですね。

仕事内容は好きだったので、時間的に厳しい部分がありました。新しいプログラミング言語がどんどん出てくるので、常に勉強し、知識をつけておかなければならないのです。プライベートの時間を確保することも難しくなり、転職を決意。運送業を転職先の候補にしていたわけではなく、管理職を希望して探していたところ、南星キャリアックスで管理者

の募集があり、応募しました。

SEやプログラマーは、ずっとパソコンに向かっている職種というイメージが強いと思いますが、お客様との打ち合わせも多く、会議で終わる日もあるくらいです。人と関わりながら仕事を進めていくという点では、前職とつながる部分もあるかもしれないですね。

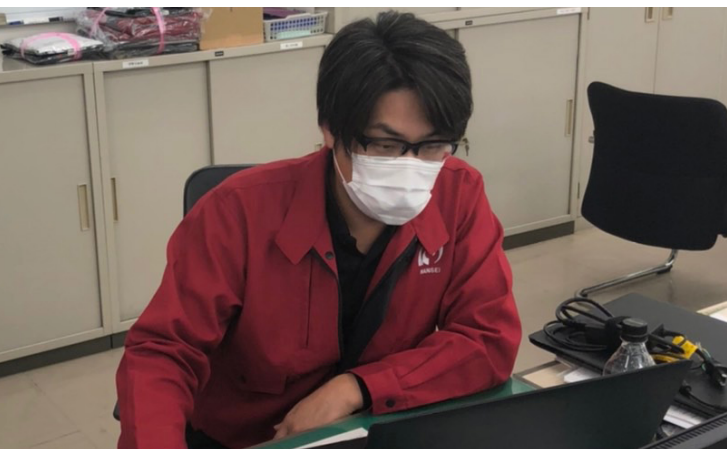
これまでの職務の中で印象に残る経験があれば教えてください。

前職で手がけていたコンピュータープログラミングでは、機械への命令を基本的に○か×のどちらかで行います。真ん中の△はありません。その方が単純で、管理する上でも楽な仕組みです。私自身も、どちらかといえば割り切った考え方を好みます。しか

最後に今後の目標や意気込みをお伺いします。

年内に豊明の営業所ができる予定で、知立から豊明に移ります。今はその前段階でこれからが忙しくなる時期です。今の営業所よりも規模が大きくなるので、しっかりと準備を整え、スムーズに立ち上げられるように取り組んでいきたいと思っています。

人と関わる仕事を通して、内面的にも変化を遂げた浪崎さん。新しい営業所に異動しても、そこで関わる人々と、より深い信頼関係を築いていくことでしよう。



し、転職して人とのやり取りがメインになると、それでは通用しない部分もあるのだと気づかされました。

考え方を考えるきっかけとなったのは、入社2〜3年後の研究のときです。専務と面談する機会があり、「人間は○か×かだけではない。人情というか、人間味を持った方がいいのではないか」

という一言をいただきました。以

前は第三者に対して無関心な方でしたが、今は相手の思いに考えをめぐらせることも多く、かつての自分よりは気を遣えるようになったと思っています。

仕事をやる上でのやりがいや、心がけていることはありますか。

何かを始めて、それがうまく軌道に乗ったときにやりがいを感じます。そのためには、前段階でしっかり考え、様々な状況を想定した準備が大事です。

普段から心がけているのは、「ミスをしたくない」という姿勢。乗務員を指導する立場なので、失敗は禁物です。乗務員あつての営業所であることを意識し、皆が働きやすい環境をつくっていくことも心がけています。